



元五輪選手・荒木大三^{だいぞう}さんが監督として北京へ

阿蘇市小倉出身の荒木大三さん（51歳、泗水町）が、近代五種競技の監督として北京オリンピックに参加されました。荒木さんは阿蘇農業高校を卒業後、自衛隊に入隊。その後抜群の運動神経がかわれ、射撃・フェンシング・水泳・馬術・ランニングで争う近代五種への道へ。ここですばらしい上達を見せ1984年のロサンゼルスオリンピックに出場しています。現役を退いてからも自衛隊体育学校でコーチ・監督として活躍。北京では、日本としては16年ぶりの参加となる村上選手の監督として参加し健闘されました。



テニスで荒巻兄弟が全国大会出場

第35回全国中学生テニス選手権大会が、8月21日から名古屋市で開催され、乙姫の荒巻功君（阿蘇北中3年）、央君（同1年）が出場しました。二人は公式テニスのダブルスに出場。3年生同士のチームが多い中、1年の央君も兄功君が得意とする攻めるテニスで頑張り健闘しました。

全国高校女子駅伝37校が初の合同合宿

先の全国高校女子駅伝大会で優勝した京都府の立命館宇治高校をはじめとする実力校37校が、初めて合同で「日本陸上競技連盟ジュニア女子長距離（普及・育成・研修・強化）合宿」を阿蘇市で行いました。開校式は8月9日農村公園あびかであり、熊本県陸上競技協会の兼本哲也会長が「全国の実力校が一同に揃って合宿することは、たくさんのライバルに触れるいい機会。この中から次のオリンピック選手が出ることを期待しています」と挨拶。佐藤市長も「阿蘇市は合宿地にふさわしい所。しっかり練習して世界にはばたく選手になってください」と歓迎と激励の挨拶を行いました。合宿は5日間行われ、来年以降も継続して3年間は阿蘇で実施するとのことです。また、ほとんどの選手が阿蘇クロスカントリー大会に出場し大会を盛り上げてくれました。



全国のランナー1200人が北外輪山を力走



第5回火の国・阿蘇クロスカントリー大会（主催：熊本県陸上競技協会、阿蘇市）が、8月10日、大観峰近くの阿蘇観光牧場クロスカントリーコースで行われ、男子一般10kmで優勝したトヨタ自動車九州の三津谷祐選手ははじめ全国から有力選手が集い記録の更新に挑みました（本年の出場者数15kmから10kmのコース、小・中・高・一般

部門に1200人）。会場のコースは、高地であることのほか起伏や水はけに優れ、気候・景観の良さもプラスして、プロ選手も絶賛するコースです。よってこの大会を夏のトレーニングのメインにする監督が増え、今後も選手の育成の場として大いに期待されます。